

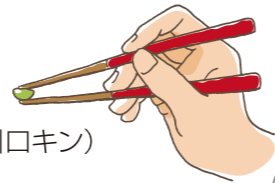
多摩のくらし～歳時記～和食についてのマナー(正しい箸の使い方)～

和食のマナーで、その人の品性が自然に表れてしまうのが、箸の使い方であるといわれます。箸使いが悪いと、どんなに偉い人も、美人も、一瞬にして興ざめしてしまうものです。

正しい箸の取り上げ方は2通り。①左手で中央部をつまんで持ち上げ、次に右手を下側から添えて移す。②右手でつまみ上げて左手を添えてから右手を返して持つ。肝心なことは必ず両手を使い、三動作で取るということです(箸置きに戻す際はこの逆の手順)。箸を持つ位置は、下すぎるとキザっぽくなるので、八分目を持ちます。また箸使いでしてはならない「禁し手」があります。

①迷い箸(どれを食べようかと膳の上で箸をうろうろさせること)、②ねぶり箸(箸先をなめること)、③突き箸(芋などを突き刺すこと)、④擦り箸(器の中に何が入っているかと箸先で探ること)、⑤寄せ箸(器を箸先にひっかけて引き寄せること)など、他にも多数あります。それと姿勢。小鉢や椀を手にとってから箸を使います。器へ口を突き出したり、犬食いにならないようにします。

なお、タイの頭やカニ・握りずしなど、箸を使わず手で食べた方がおいしい料理のあることも心得ておきたいものです。(川口キン)



第5期多摩区まちづくり協議会 新会長あいさつ

日頃より、多摩区のまちづくり活動に御理解、御協力を賜り、誠にありがとうございます。

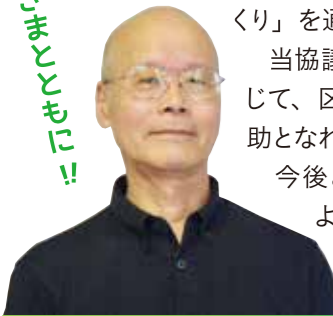
この度、第5期多摩区まちづくり協議会会長に就任しました、葛生 茂(くずう しげる)と申します。

当協議会は、多摩区と協働してボランティアによるまちづくり活動を行い、区民手づくりのまちを目指しています。多摩区では21万を超える人々が生活していますが、市民活動団体や区民の皆さまとのまちづくりに関する情報交換や交流、学びの場を積極的に提供しています。また、まちづくりに関する課題を解決するため、企画・立案し、その実践を進めています。

具体的には、中間支援的活動として、市民活動団体や区民の皆さまを対象にまちづくり活動に役立つ学びの場を提供する「多摩★まち大学」、区内でユニークな活動をする団体さまをゲストに招いて、区民の皆さまと団体さま同士がまちづくりについて語り合うことができる場を提供する「多摩★まちCafe」、毎年2月に当協議会の報告及び約30の市民活動団体さまが集い、交流を深める「まちカツ!」を開催しています。また、地域課題の解決として、環境啓発活動を行う「多摩エコスタイル」、ネット上のチラシギャラリーを展開する「マグネット多摩」、子どもの外遊びを通じた世代間交流を推進する「たまむすび」の3プロジェクトが積極的に活動しています。これらの活動及び団体紹介・イベント情報として、年4回、広報誌「私たちのまちづくり」を通じて、情報発信しています。

当協議会では、これらの活動を通じて、区内の市民活動活性化の一助となればと考えております。

今後とも御指導、御鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



葛生茂新会長

たま今昔 区制が敷かれてから40年以上を経た多摩区の昔の姿を探ります

その16 長沢浄水場



昭和29年当時の浄水場内の着水井 現在の着水井 (平成28年6月20日撮影) 提供: 長沢浄水場

<約32kmの導水トンネルにより相模湖より8時間かけて流れてくる>

長沢浄水場は主に相模湖から取水した水を浄化・消毒し、水道及び工業用水として市内各所に送っています。1954(昭和29)年の完成当時から日本初のオートメーション化された水道施設として、働いている人の数が少ない浄水場でしたが、今はさらに少なくなっています。一方60年前に比べ、長沢浄水場(水道及び工業用水)の給水能力の合計は、1日49万トンと約3倍、敷地面積も約3倍となりました。川崎市全体の施設再構築計画により本年より従来からあった潮見台、生田浄水場の水道分を廃止し、ここに統合しています。 [文: 児井]

編集 後記

新しい広報編集メンバーによる広報誌、いかがでしょうか。引き続きまち協の活動報告のほか、皆さまのお役に立つような情報をタイムリーにお知らせしていきます。まだメンバーが少ないのでお手伝いいただける方を募集しています。(児井)

多摩区まちづくり協議会へのご意見、ご質問、プロジェクトへの参加申し込みはこちらへお願いします。

【事務局】〒214-8570
多摩区役所地域振興課まちづくり推進係
電話 935-3148 FAX 935-3391
メール 71tisin@city.kawasaki.jp
ホームページ <http://tamaku-machikyo.com/>



多摩区まちづくり協議会は、区民の自主的なまちづくり活動組織です。区民が取り組む地域活動を、年4回発行でお知らせしています。

私たちのまちづくり

多摩区まちづくり協議会 NEWS

2016年
(平成28年)7月

52
号



多摩の
風景



二ヶ領用水をゆるやかに流れる灯籠 [写真: 岡本次郎氏]

地域で取り組む宿河原の灯籠流し

8/16(火)
開催!

【記事: 古川】

二ヶ領用水宿河原堀の「灯籠流し」は、宿河原町会(会長三竹隆雄氏)・子ども会による主催、宿河原駅前商店会による共催、宿河原堤桜保存会・二ヶ領用水宿河原堀を愛する会による協賛で、毎年8月16日に行われています。綺麗な川を流れるようにと、開催日前には二ヶ領用水のゴミ清掃もしています。灯籠は、窓から灯りが漏れる特殊な素材を使っていて、宿河原町会の役員の方は、なるべく費用が掛からないようにと、およそ一年間をかけてこの特殊な素材の調達を始めているそうです。灯籠の組立てセットの一部は10地区の子どもたちに配布され、家庭で絵や願いを書いて持ち寄っています。

夏の陽が落ち、辺りが暗くなるころ、いよいよ灯籠流しが始まります。宿河原橋の上流で、人々の思いがこもった灯籠に係りの人が火を点け川に浮かべると、ほのかに灯る約600個の灯籠が、桜並木の下の川面をゆらゆらと映し出し、幻想的な風景を作りながら流れていきます。その灯籠を子どもたちは小走りで追いかけていきます。灯籠が置石や流れの淀みに留まらぬよう、町会役員の方々が竿などで流れに乗せていきます。最終地点では灯籠を回収し、ゴミの分別作業を行います。形が崩れずに流れてきた灯籠は、子どもたちの手に戻すこともあるそうです。

+ 活動 引き継がれる灯籠流し



竿で灯籠を上手に流す

灯籠流しは地域で取り組める催しとして、平成11年に桜保存会会員の呼びかけで始まり、平成16年から宿河原町会が主催。使用済みのゴルフマーカーを町会全体から集め、ロウソク立てとして使っています。印刷した画用紙に窓をくり抜き、特殊な材質を貼り、竹串を貼り付け、ゴルフマーカーに両面テープを貼るなどの細かい作業は、3、4日間に掛けて、町会役員が分担して行います。



交通: 宿河原駅から 人約2分

灯籠に思い思いの絵や願いを描く

多摩区まちづくり協議会 まちづくり TOPICS

多摩区まちづくり協議会が内外で行っている
さまざまな活動の紹介や、身近なまちの情報
などを、トピックス仕立てでお届けします！

【まち協ホームページ】
<http://tamaku-machikyo.com/>

プロジェクト

毎日の暮らしをエコに!

記事 三枝

多摩エコスタイルプロジェクトでは、毎日の暮らしから、環境に大きな負荷を与えない生活に変えていこうと活動をしています。その中でも、毎日の食事は大事です。食材の選び方、調理の仕方、後片付けまで、トータルで環境を大切にできたら素敵ですよ。8月5日には「ゴーヤでエコなクッキング」を開催します。親子で、またお友達同士でご参加ください。



今年もゴーヤの季節がやってきました

平成28年度総会 & 新委員顔合わせワークショップ

報告

5月24日(火) 18時から多摩区役所で、第5期多摩区まちづくり協議会の総会を開催しました。今年度は役員改選があり、会長以下全候補が承認されました。第5期委員は、一般公募(21人)と団体推薦(14人)の計35名で活動してまいります。

また、今年度は新規委員を加えての新たなまち協が始動するため、5月11日(水)と総会後の2回、委員交流ワークショップを開催しました。総会前ワークショップでは、まち協の取り組みなどの紹介、委員の自己紹介、グループに分かれてまち協でやりたいことなど、自由に意見交換を行いました。総会后ワークショップでは、まち協の実践組織である研修企画部、広報編集部、上記3プロジェクトの紹介を行い、その後、各部・プロジェクトの代表が中心となって、グループに分かれて意見交換を行いました。

第5期は、これまでまち協が培ってきたものを土台としつつ、新規委員を加えた新たなまち協として、心機一転活動にチャレンジしてまいります。



総会を経て役員が新体制へ移行



総会前後にワークショップを実施



たまむすび

記事 稲田

「たまむすび～遊び場支援プラットフォーム～」プロジェクトでは、様々な団体同士がコラボでイベントを実施し繋がることで、遊び場活動の活性化やシニアの地域デビューを促し、子どもたちと楽しみながら地域全体で支える仕組みづくりを目指して活動しています。自然の中で遊べる河原や田畑・空き地・空き家等の情報、一緒に活動を希望される方をお待ちしています。



世代を超えてベゴマで盛り上がる

プロジェクト

菅の獅子舞

記事 小澤

菅の領主だった稲毛三郎重成が、重成山極楽寺(今の薬師堂)を建立したとき、子どもたちの魔除け神事として獅子舞を奉納したのが始まりといわれ、1187年から民俗芸能として伝承されています。



獅子と天狗が土俵上を華麗に舞う

その後、五穀豊穡・疾病退散などを目的として祈願されていく中、平成13年「神奈川県指定無形民俗文化財」に指定され、毎年9月の第2日曜日(今年は9月11日)に薬師堂の土俵上で舞われています。

第37回川崎市総合防災訓練

情報

【実施日】平成28年8月28日(日)

【時間】9時～正午
【場所】ニヶ領せせらぎ館周辺の河川敷
【内容】・ライフライン応急復旧訓練
・災害時応急医療活動訓練
・消火活動訓練
・救出救助訓練
・給食訓練 など



消火活動訓練

【時間】10時～正午
【場所】稲田中学校
【内容】・模擬災害体験コーナー
・ペット同行避難体験
・防災キャンプ
・最新防災グッズ など



熊本地震避難所の再現

夏の終わりの一夜を花火で

記事 藤田

夏の終わり、8月21日(日) 18時50分より調布多摩川で開催される花火大会には、対岸の稲田堤～中野島にも大勢の人が観覧に集まります。稲田公園内でもエンジョイできるでしょう。詳しくはホームページで：
<http://hanabi.csa.gr.jp/>

8月20日(土)には、多摩川二子橋両側で川崎・世田谷の花火大会、そして南生田山上の春秋苑の還燈会でも、花火が終わりを彩ります。



贅沢に花火を堪能できます

生田緑地サマーミュージアム

記事 児井

8月21日(日)に生田緑地で開催されます。今回は、「時代をつなぐ」をテーマに、昭和のノスタルジーを感じさせる演出が散りばめられ、岡本太郎美術館、日本民家園、かわさき宙(そら)と緑の科学館などを合わせたひとつの大きなミュージアムとして様々なイベントが楽しめます。さらに、いつもは入ることのできないゴルフ場も開放されます。



テーマは「時代をつなぐ」 昨年のサマーミュージアムの様子

区内のイベント情報(7月～8月)

区内のおすすめイベント情報

夏休み!多摩区エコフェスタ

8/1(月) 10時～ @多摩区役所1階アトリウム他
ピクニックデー

9/19(月・祝) 10時～ @生田緑地 中央広場ほか

生田緑地★星空コンサート〔アウトドアステージ〕

9/19(月・祝) 13時～
@生田緑地 かわさき宙(そら)と緑の科学館前広場

アトリウムコンサート

9/21(水) 正午～ @多摩区役所1階アトリウム

自然体験のつどい

9/22(木・祝) 10時～ @生田緑地中央広場ほか

第39回多摩区民祭

10/15(土) 9時半～ @生田緑地 中央広場ほか

※ イベントの内容は変更になる場合があります。